



# News Letter

昭和女子大学 現代ビジネス研究所 | ----- | ニューズレター |

4

Greeting

## 所長挨拶

昭和女子大学現代ビジネス研究所  
所長 久原 正治

昭和女子大学現代ビジネス研究所は、産業界・地域と連携するこれまでにない革新的な教育・研究環境の創出を目指して、女子大として初めてのグローバルビジネス学部の創設と同時に2013年4月に開所されました。3年目に当たる2015年度は、18名の新たな研究員を迎え、80余名のビジネス経験豊富で多様な学外の研究員、関連教員、学生、事務局により、様々な共同プロジェクト、大学から研究員に委嘱した調査プロジェクト、研究員の研究活動(うち11件は大学より研究資金提供)、研究員による研究交流会(前期5回の研究サロン開催)、研究員がビジネスデザイン学科開講の「ビジネス研究」の授業に出講(3コマ:12名)、研究セミナー・公開講座(2回開催)など、大変活発な活動が行われました。これらの大半が学外にも公開され、開かれた大学を体現しています。

2015年度上期からは、設立3年目となるグローバルビジネス学部のゼミプロジェクトも多数開始され、教員、研究員、学生、事務局一体となった様々な共同プロジェクトがさらに活発化しています。このように、外部の実践知と大学の持つ知識を結びつける当研究所の諸活動は、今後の社会での活躍が期待される女子大生の新たなビジネス教育・研究のモデルとなっています。その結果、多くの企業から、研究所に直接商品の共同開発等の申し込みが続いており、当研究所の存在感が高まってきたのは嬉しいことです。今後研究員、教員、学生、外部企業の連携活動が一層活発化することを期待しております。

## 研究セミナー

### 「これからのワーク :人事部次第で働き方が変わる」

日時: 2015年6月27日(土) 15:30~17:00

会場: 80年館コスモスホール

講師: ビジネスデザイン学科  
八代 尚宏特命教授

日本の労働市場の変化に対する労働法の改革の誤解、それに伴う会社の人事の問題について講演をいただいた。日本の労働について、日本の雇用慣習の視点から正規社員と非正規社員の労働特性が説明された。日本の正社員は、長期雇用・年功賃金が保証された円満な労使関係を持つ企業別の労働組合のもと、職種を限定しない多能エタイプである。そして雇用安定の代償として働き方の自由を企業に移譲し、無限定な働き方になっている。この労働形態は、経済社会環境の変化に対応できず、正社員を変化させる要因導入が難しい。一方、非正規社員は、有期雇用契約、職種別賃金で、世界では一般的な雇用形態で、経済社会変化に適した雇用形態であるが、日本では労働者間での格差の象徴として扱われている。これは日本の労働市場は労使対立でなく「労・労対立」の構造で動いているからである。この前提で、今、行われている労働法の改革が、有効かについて解説された。

次に日本の人事は、社員の中高齢化に対して役職ポスト不足にいかに対応するかが問題になっている。その基礎となる人事評価は本人の納得感が必要であるが日本の制度では難しく、今後は役職に対するセルフセレクションの導入が重要になると説明された。最後に、今後の人材活用に関して、政府の役割は、経済環境の変化に対応した労働法の改革と民間企業のベストプラクティスの促進であり、民間人事部の役割は、多様な働き方の社員間の公正な処遇が重要になると説かれた。(文責: 研究員矢代晴実)



## ▶ 公開講座

### 「SAKEを世界に観光立国実現へのアクション」

酒サムライコーディネーターの平出淑恵氏よりお話を伺った。この日は学長はじめ先生方、多くの学生・研究員が参加し、日本酒文化への関心の高さを窺わせた。

平出氏は日本航空国際線CAからキャリアをスタートさせ、その傍らシニアソムリエの資格を取得。新入社員研修で「JALの鶴丸マークは日の丸を半分以上背負っている」と教えられ、その後のキャリアでも、世界の中で他国に学び協力し合いながら、日本文化を代表する日本酒の発展に尽力している。日本航空勤務時に出会った海外のワイン専門家の深い世界観に刺激を受け、その後世界最大規模のワイン審査会に日本酒部門を創立し、海外では販路開拓に、国内では身近な酒から誇れる酒へと認識の向上に貢献した。また、観光庁、総務庁、農水省、経済産業省などの官公庁や日本政策投資銀行とともに国を挙げて、持続的な世界への情報発信とマーケティングに取り組んでいる。また、日本酒を通じて国内はもとより海外からのインバウンド観光客を地方に呼び込み、日本文化を紹介する地方活性化事業も行っている。

平出氏の落ち着いた物腰の中に日本酒への情熱が強く感じられる興味深いお話に皆聞き入っていた。日本酒に興味を持つ学生には、相手の懐に入り込んで積極的に日本酒文化を世界に広めていける人になって欲しいという。(文責：研究員川野輪英子)

日時：2015年5月30日(土)13:30～15:00

会場：80年館5L44教室

講師：株式会社コーポ・サチ 代表取締役  
平出 淑恵氏



## ▶ プロジェクト研究発表会

日時：2015年2月28日(土)13:30～16:30

会場：80年館5L44教室



プロジェクト研究発表会は、2014年度に本学学生と教員が取り組んだプロジェクト研究の報告をし、連携企業や自治体等の関係者とともに、その成果について検証し、次年度への取り組みおよび教育プログラムに反映するものです。6件のプロジェクトが発表しました。様々な特性のあるプロジェクトの発表があり、発表学生は活動してきた成果に基づいて堂々と発表していたことが印象的でした。質疑応答では、研究員やプロジェクト担当の連携企業等の関係者から様々な質問があり、活発な意見交換が行われました。来年度以降のプロジェクト研究活動への糧となる有意義な会となりました。本年度も2月27日にプロジェクト研究発表会を開催します。



<発表プロジェクト>

- ◇セタコレブック2014
- ◇美カフェ in 望秀学寮
- ◇ホンノバ・プロジェクト
- ◇BMW Motorrad × SWU  
-NECK TUBE DESIGN PROJECT-
- ◇三茶・三宿まちなかプロジェクト
- ◇渋谷桜丘町づくり



## ▶ 研究員報告会・交流会



2014年度に現代ビジネス研究所で助成金を採択された8件のプロジェクト研究の報告会を開催しました。研究員間での共同研究や、本学学生と協働して進めた研究等、様々なプロジェクト研究の報告がありました。報告後に新研究員をお迎えし、交流会を行いました。

## ▶ 研究員・所員交流会



現代ビジネス研究所研究員・所員交流会を開催しました。所員の先生方の行っているプロジェクトの内容をお聞きたり、また研究員同士でもお互いのプロジェクト研究について情報交換されており、会は盛況でした。新たなプロジェクト研究が生まれることを期待します。

## 助成金採択プロジェクト

現代ビジネス研究所では、研究員の研究活動を支援するために優れた研究に対して研究経費の一部を助成しております。2015年度は15件の応募があり、審査の結果、下記11件を採択しました。研究員間での共同研究や、本学学生と協働して進めている研究もあります。年度末には報告会を開催します。



研究員名	プロジェクト名
1 江口 智子	山梨県のワイナリーにおけるテイスティングルームの実態とその特性
2 大本 郁子	化粧品販売業態の変遷にみる、最新クロスメディア・マーケティングの現状を分析する～主にWebマーケティングの現場から～
3 熊坂 敏彦	日本酒のグローバルマーケティング戦略等についての研究
4 下村 源治	ダイバーシティがもたらす競争力
5 鈴木 賢津彦	地域コミュニティに求められる「地域新聞」の役割の実践的分析と、今後のビジネスモデルを構築するプロジェクト
6 高畑 正	新座市の活性化と地域通貨に関する考察
7 鶴沢 真	ネット・ショッピングおよび決済手段の決定要因 –サーベイ調査にもとづく特性分析
8 豊永 真美	大学生の就学・就職に伴う地域間移動の実態とふるさと創生への政策的インプリケーション
9 藤村 成弘	日本の産業用ロボット産業の発展メカニズムの研究
10 水野 満	ブランド価値ランキングと財務パフォーマンスに関する研究
11 柳川 伸二	昭和女子大学生の国際協力に関する意識調査 –「グローバル人材」の育成に向けた現状と課題– (第2年次)

## 研究員サロン

現代ビジネス研究所では月1回研究員サロンを開催しています。毎回研究員や本学教員が発表をし、その発表に対して議論をします。発表内容は助成金採択者の中間報告や、研究員自身の研究報告等、内容は多岐に渡ります。

開催日	テーマ	発表者
5/14	新生活運動から日本近現代史を考える ～「戦争の時代」を歩んだ東アジアの共時性～	松田忍専任講師
6/9	2014 経験報告: ビジネスデザイン学科学生とともに考える 「リーダーシップ」事例分析に参加して	高橋恵子研究員 今井章子特命教授
7/25	地域開発の一考察	森田弘美研究員
8/22	私の「地場産業」研究史 –日本酒調査への道程–	熊坂敏彦研究員
9/10	中国ビジネスの現状	佐野良伸研究員





「昭和デザインオフィス」は、「現代ビジネス研究所」の1セクションとして機能し、全学の学生・教員に開かれた研究施設として設置されています。学内のプロジェクトを統括し外部団体に対してはプロジェクト申請の窓口となる組織であります。大学のカリキュラムと関連するプロジェクトや企業や地域と連携したプロジェクトあるいは大学から外部に発信するプロジェクトまで多様に推進しています。プロジェクト研究に取り組む学生の教育・学習支援を行うアクティブラーニングの活動拠点でもあります。

「昭和デザインオフィス」は、企画、デザイン関連の教員が中心となって指導し、各学科の教員と学生のデザインを介しての交流を行うことを一つの目的と考えております。機器・設備面も最新の企画・デザイン関連の施設を導入し、実社会のオフィスと同等の業務を大学内で行っていくことがこのデザインオフィスの目的です。

## 平成27年度前期認定プロジェクト

プロジェクト名	コラボ先 <担当教員>
渋谷センター街七夕まつり	渋谷センター商店街振興組合<友田博通>
横浜・カイバー 洋館活用関係者交流プログラム	横浜市緑の協会、カイバー市観光課、国際交流基金、国際文化研究所<友田博通>
渋谷桜丘町づくり-Beyond 246-	渋谷桜丘町会、駅前共栄会<友田博通>
Sweets dream -setagaya-	昭和信用金庫、亀屋商店<石井幸江・原正美>
H(health)&B(beauty)メニューの提案	(株)ティー・オール・シー、(株)フジランド<石井幸江・清水史子・不破真佐子>
まちおこし応援プロジェクト 三軒茶屋 一学生による第3回よいしょ祭り、第2回ふれあい三茶祭り 他の企画・広報・運営及び、地域とのコラボレーション	三軒茶屋銀座商店街振興組合<木村信之>
1 三茶・三宿まちなかプロジェクト2015	三軒茶屋まち通業実行委員会、太子堂商店街、三宿四二〇商店会、世田谷パン祭り実行委員会、下の谷商店街、下の谷町会<鶴田佳子>
2 フロアホッケー昭和女子大学せたがやウッキーズ	[協働] せたがやウッキークラブ [協力] 特定非営利活動法人日本フロアホッケー連盟、公益財団法人スペシャルオリンピックス日本、NPO法人勇氣の翼インクルージョン2015、株式会社エフビコ <渡辺剛・小森重紀子>
Infe(l)ducation (インフィールドエデュケーション) プロジェクト	株式会社インフィールドデザイン<天笠那一郎>
アクティブシニアをターゲットとした加工食品の共創	新田ゼラチン株式会社<高尾哲也>
ゆうきのつばさ ANNIVERSARY EVENT 2015	NPO法人勇氣の翼インクルージョン2015、inclusion award 2014実行委員会、株式会社チャコット、公益財団法人スペシャルオリンピックス日本 他<小森重紀子>
昭和女子大学×資生堂共創プロジェクト	株式会社資生堂<久原正治・小川睦美・小森重紀子>
スポーツイベントin 昭和	募集中<小川睦美・白川敬子>
美カフェin望秀	鶴山市、鶴山市教育委員会(予定)<小川睦美・白川敬子>
木曾漆器デザインプロジェクト	財団法人望秀・木曾地域地場産業振興センター<桃園晴子>
3 耀け☆健康美プロジェクト @P&B (ハートレス-&アランジェリー) Japan	日本イージェイ株式会社<小川睦美>
せたがやウッキークラブ創立10周年記念イベント	[協働] せたがやウッキークラブ [協力] ハーモニージャパン株式会社、近畿日本ツーリスト株式会社<渡辺剛・横山文樹>
4 IID展示計画プロジェクト	IID 世田谷ものづくり学校<金子友美>
BMW Motorrad × SWU -Color Design Project-	BMW Motorrad Japan<橋倫央>
5 洗産 -シブサン アクリル プロジェクト-	有限会社アクリル<橋倫央>
はこじょ創造プロジェクト2015	一般社団法人はこねのもりコンソーシアムジャパン (はこねのもり女子大学) (はこじょと協働して連携先企業を問合: 美津濃株式会社、オムロンヘルスケア株式会社、 箱根神社他を予定)<栗袋真久>
カラーゲン美容市場リバイタリゼーション プロジェクト2015	新田ゼラチン株式会社<栗袋真久>
ホンノバ・プロジェクト	NPO @リアス、NPOこれからの建築を考える (伊東建築塾)<杉浦久子>
6 株式会社JALカード Navi 入会促進企画プロジェクト	株式会社JALカード、日本航空株式会社 路線統括本部マイレージ事業部<熊崎晶子>
ユニバーサルデザイン 2020プロジェクト(仮称)	株式会社ミライロ<熊崎晶子>
7 学内サイン計画	学園本部<芦川智・金尾朗・桃園晴子・金子友美・田村圭介・橋倫央>
大井町創生大学連携事業	神奈川県、大井町<芦川智・石井幸江・小川睦美・瀬沼頼子・金子友美・鶴田佳子>



## 「SWUオリジナル・ミネラルウォーター」デザイン

昭和女子大学オリジナルミネラルウォーター「ユメミルミズ」のラベルデザインを行いました。このミネラルウォーターは、商品名からラベルデザイン、宣伝ポスターまで一貫して環境デザイン学科の学生が制作しています。

昭和女子大学のスクールカラーである水色を基調にふんわりとした夢見心地なデザインに仕上げました。「ユメミルミズ」という商品名は、空に憧れ夢焦がれる海の中の水と、昭和女子大学に通う夢を描く学生達のイメージを重ね合わせた名前で、学生全員の夢の実現を願って名付けられました。

このデザイン分(24,000本)が販売終了後、リニューアルした「ユメミルミズ」も販売予定です。どうぞお楽しみにお待ちください。